

# 青森県の自殺の状況について

平成 29 年 2 月  
青森県立精神保健福祉センター作成

## 1. 自殺者数の推移

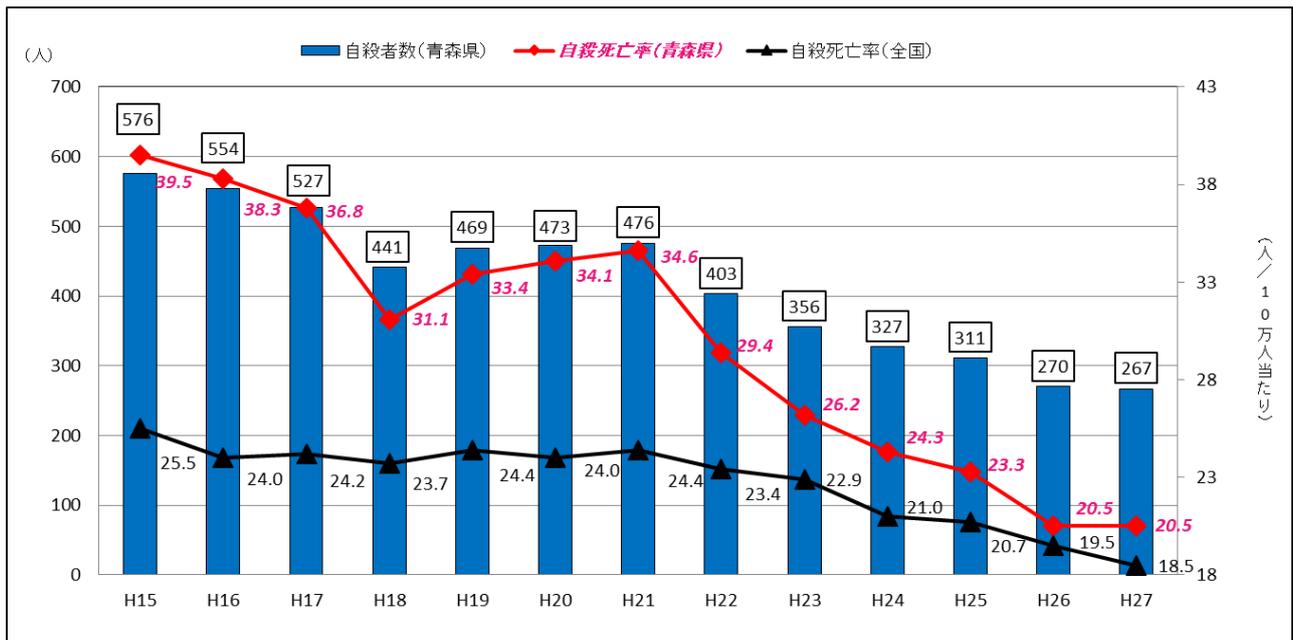
		H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
青森県	男性	446	450	404	334	373	353	359	297	261	232	225	192	199
	女性	130	104	123	107	96	120	117	106	95	95	86	78	68
	総数	576	554	527	441	469	473	476	403	356	327	311	270	267
	順位	2	2	2	6	3	2	2	3	7	7	8	12	11
全 国	男性	23,396	21,955	22,236	21,419	22,007	21,546	22,189	21,028	19,904	18,485	18,158	16,875	16,202
	女性	8,713	8,292	8,317	8,502	8,820	8,683	8,518	8,526	8,992	7,948	7,905	7,542	6,950
	総数	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152

出典：人口動態統計

青森県の自殺者数は、厚生労働省人口動態統計によりますと、平成 27 年は 267 人となっており、平成 26 年の 270 人に比べ 3 人の減少となっています。6 年連続で自殺者数が減少しています。

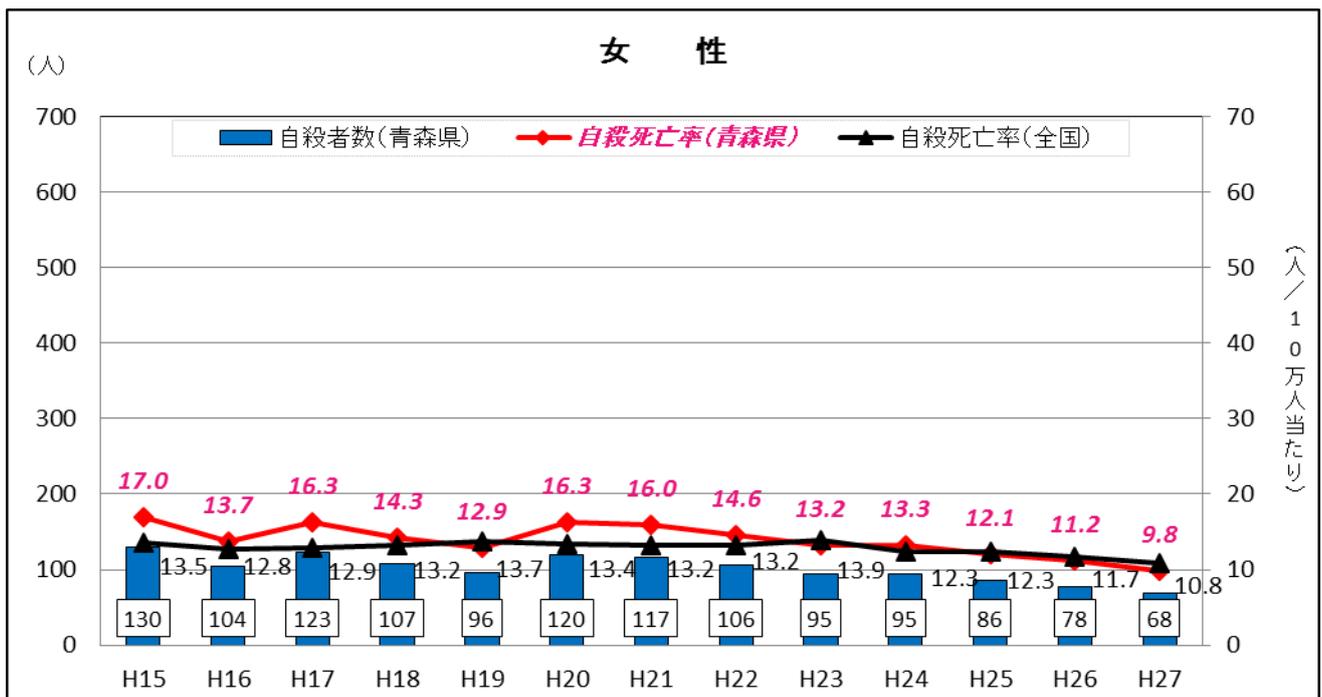
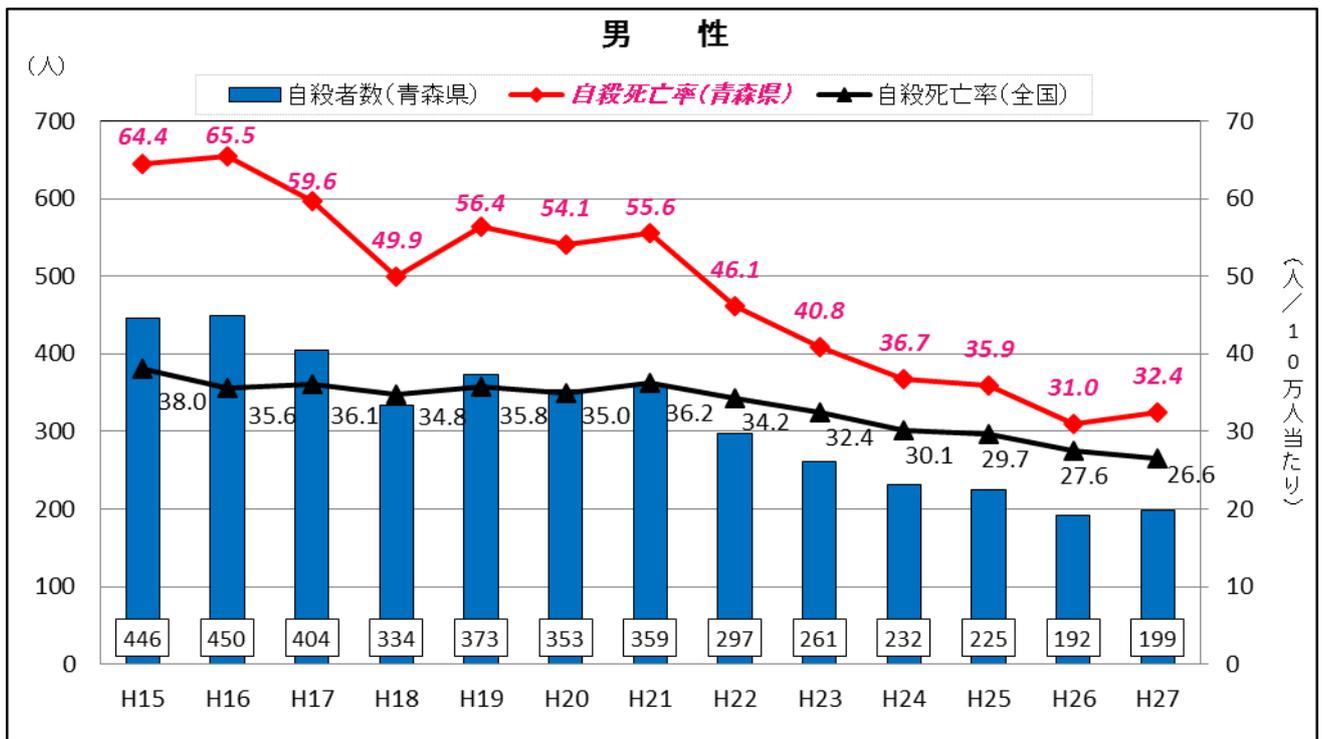
男女別では、青森県・全国共に女性に比べ男性の自殺者が多く、青森県では自殺者の 7 割以上を男性が占めています。

## 2. 自殺者数及び自殺死亡率の推移



出典：人口動態統計

青森県の自殺死亡率は、平成 21 年以降は連続して低下していますが、全国より高い数値で推移しています。

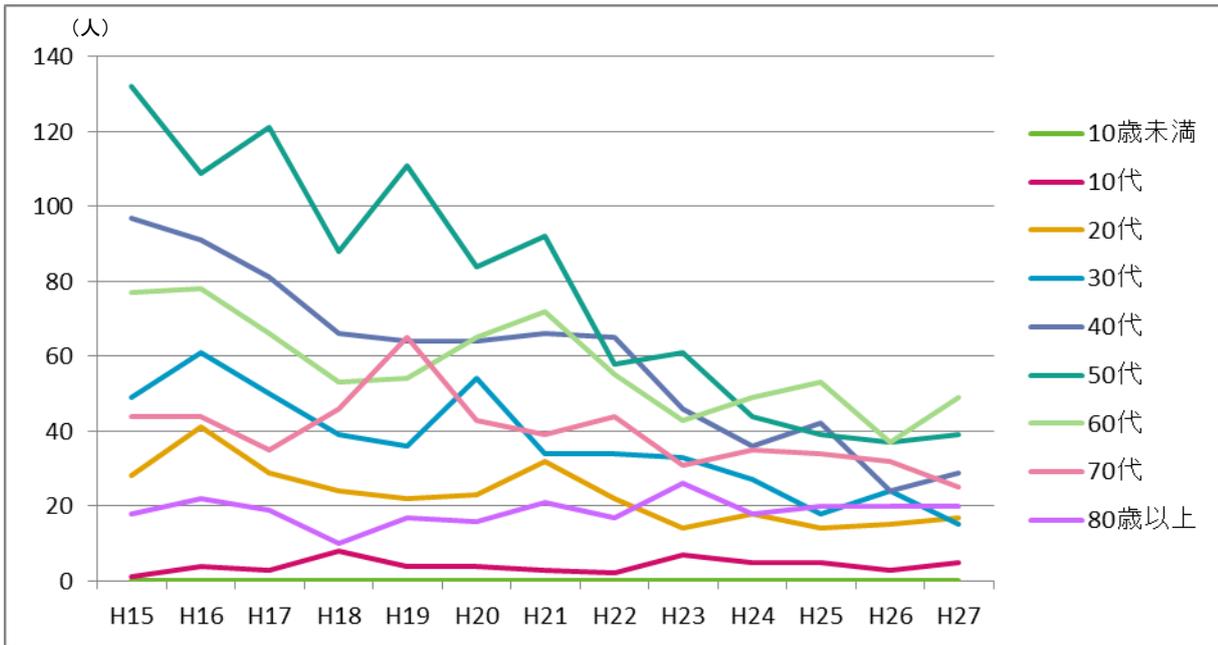


出典：人口動態統計

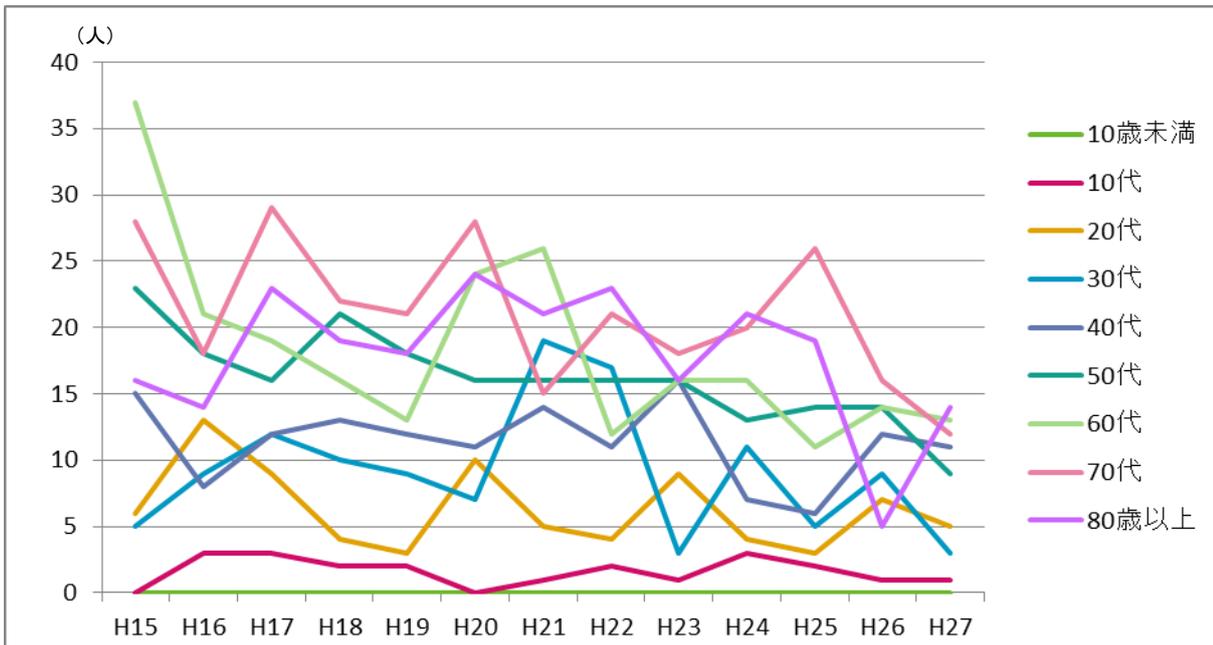
青森県男性の自殺死亡率は平成16年をピークに、平成21年以降は低下していますが、全国を上回っています。青森県女性の自殺死亡率は平成25年以降、全国を下回っています。

### 3. 男女別年齢階級別自殺者数の推移（青森県）

#### 男性



#### 女性

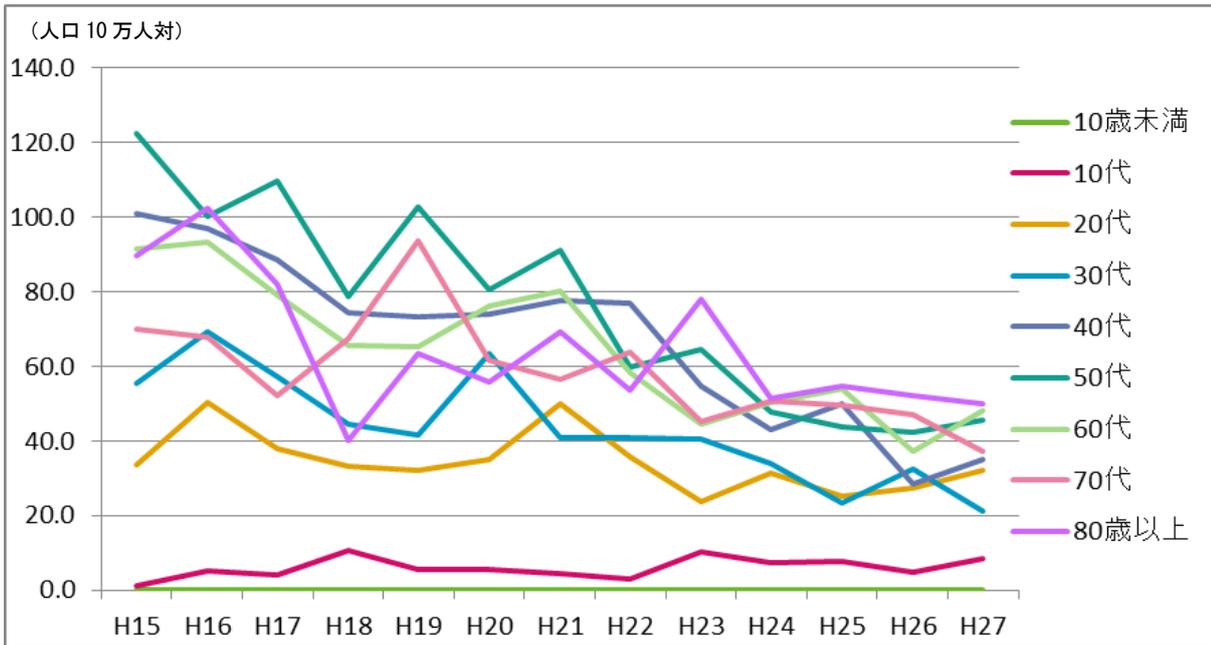


出典：人口動態統計

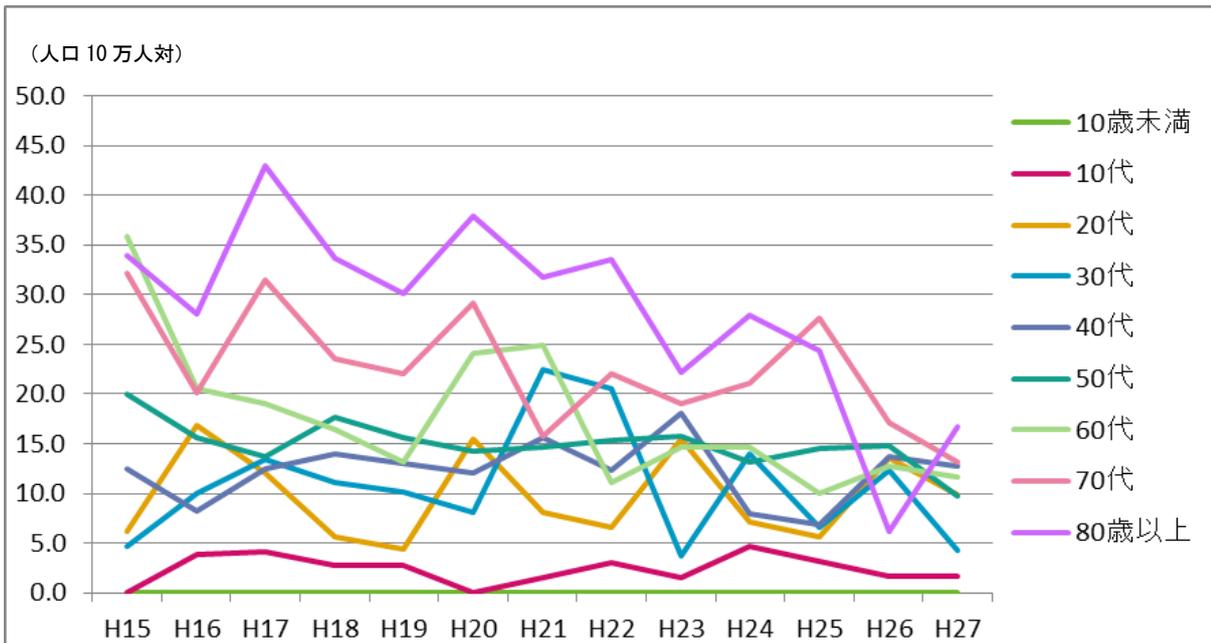
青森県男性の自殺者数は40代、50代が大きく減少しています。  
 青森県女性は60代以上の自殺が多いです。

#### 4. 男女別年齢階級別自殺死亡率の推移（青森県）人口10万人当たり・試算値

##### 男性



##### 女性



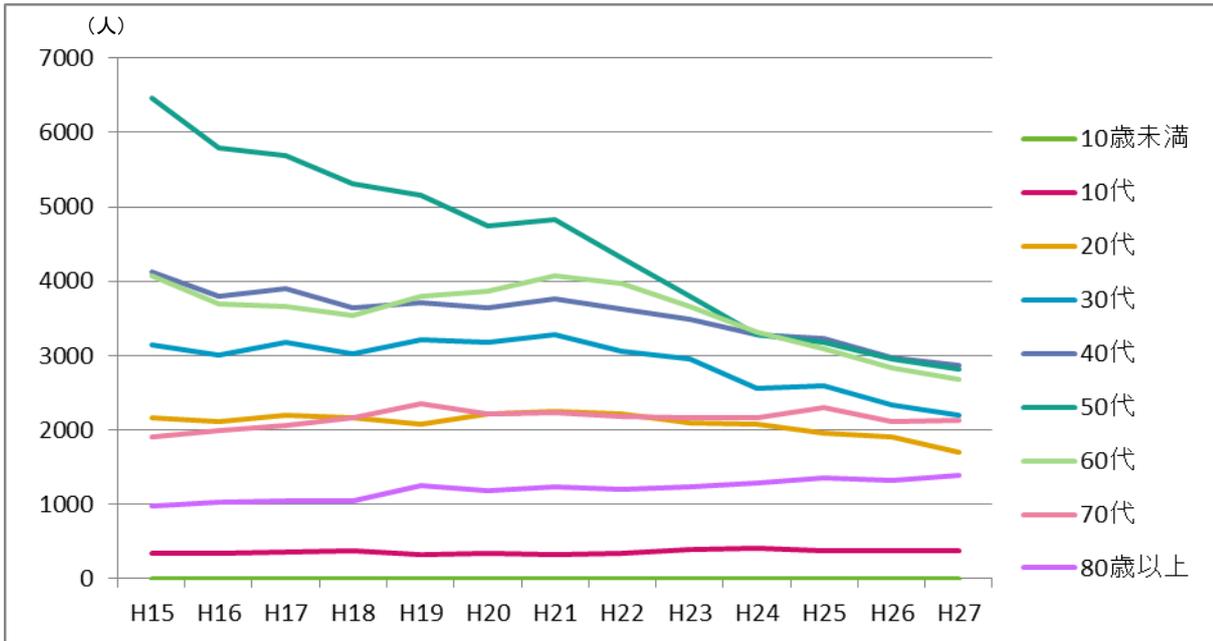
人口動態統計に基づき青森県立精神保健福祉センター作成  
 (人口は県統計分析課調べ、各年10月1日現在総人口)  
 なお、日本人人口とは値が異なるため試算値となる。

青森県男性の自殺死亡率は、かつては50代が最も高かったものの低下し、現在は80歳以上が最も高くなっています。

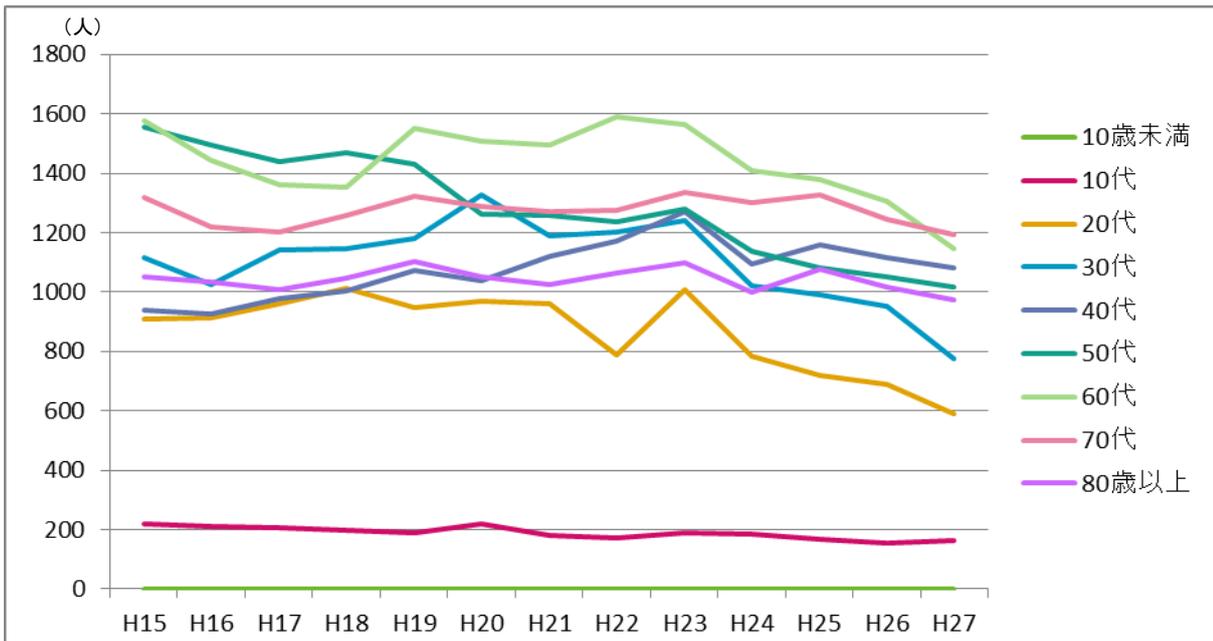
青森県女性は70代以上の自殺死亡率が高いです。

## 5. 男女別年齢階級別自殺者数の推移（全国）

### 男性



### 女性

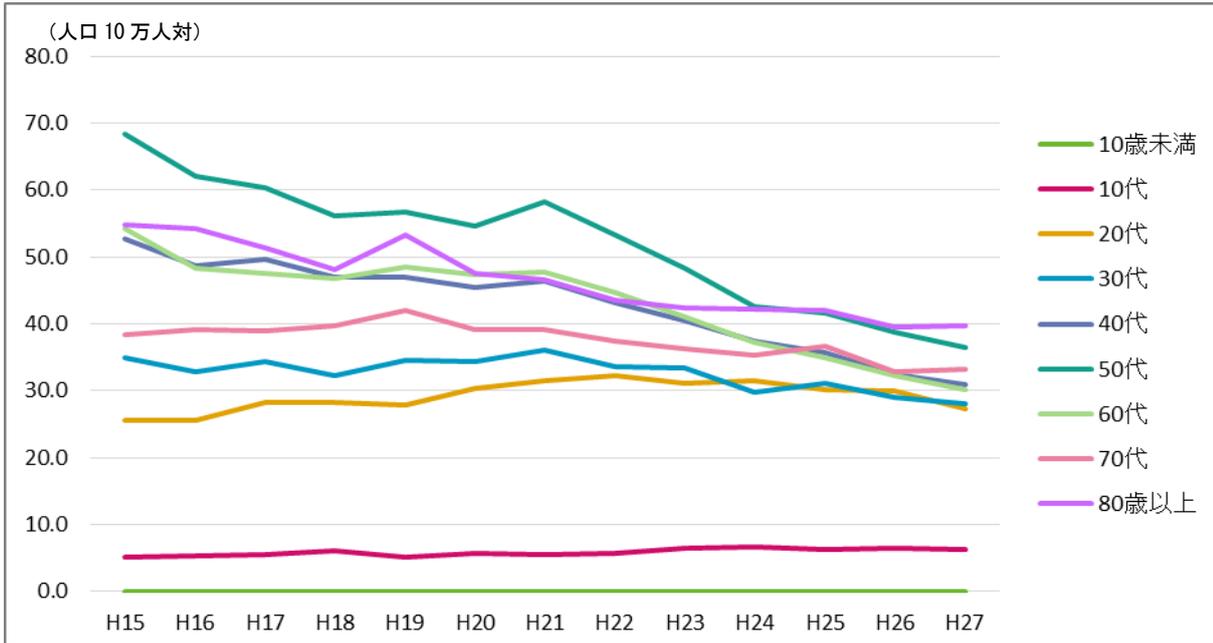


出典：人口動態統計

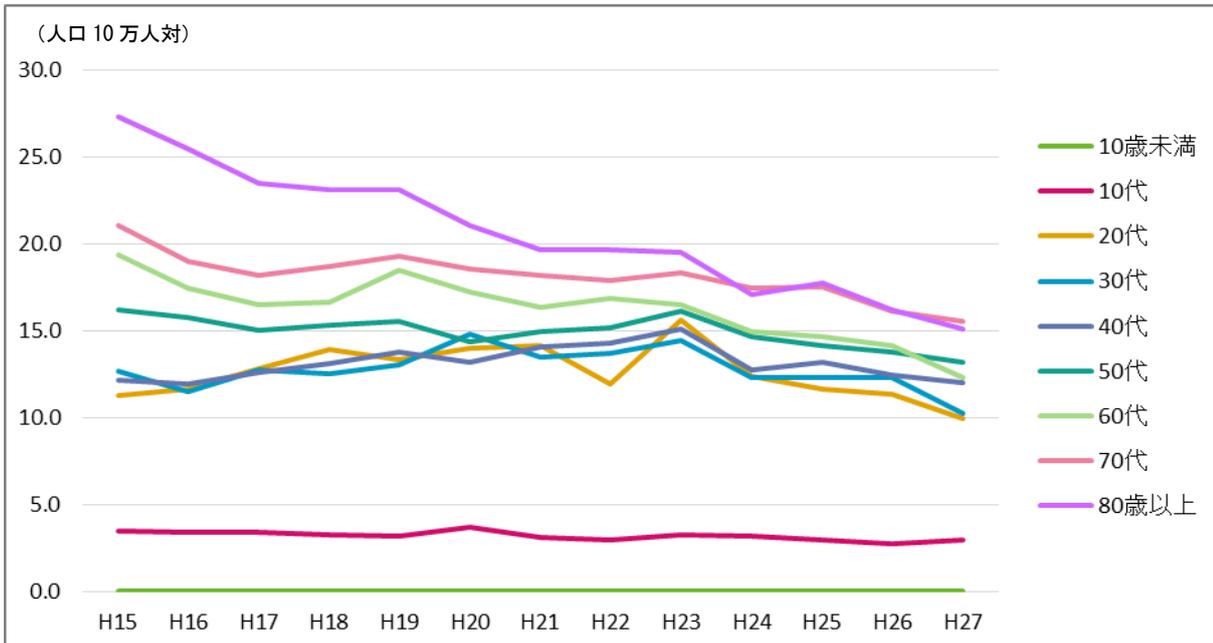
全国も青森県と同様に、50代男性の自殺者が大きく減少しています。女性は60代、70代の自殺者数が多いです。

## 6. 男女別年齢階級別自殺死亡率の推移（全国）人口10万人当たり

### 男性



### 女性

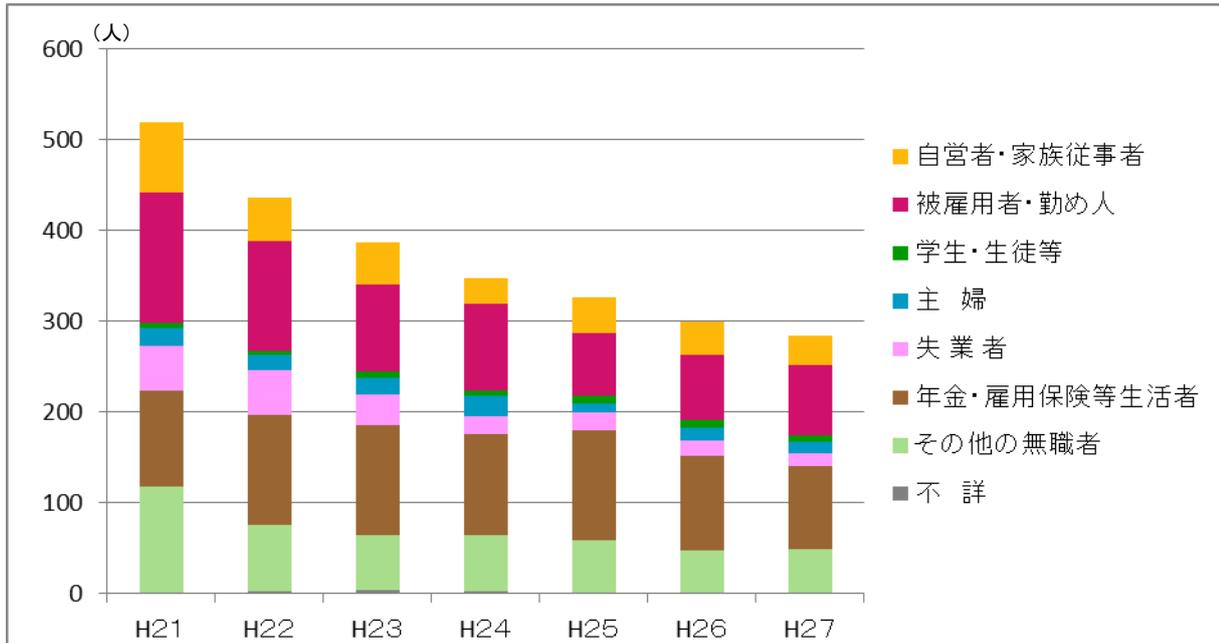


※人口動態統計に基づき青森県立精神保健福祉センター作成

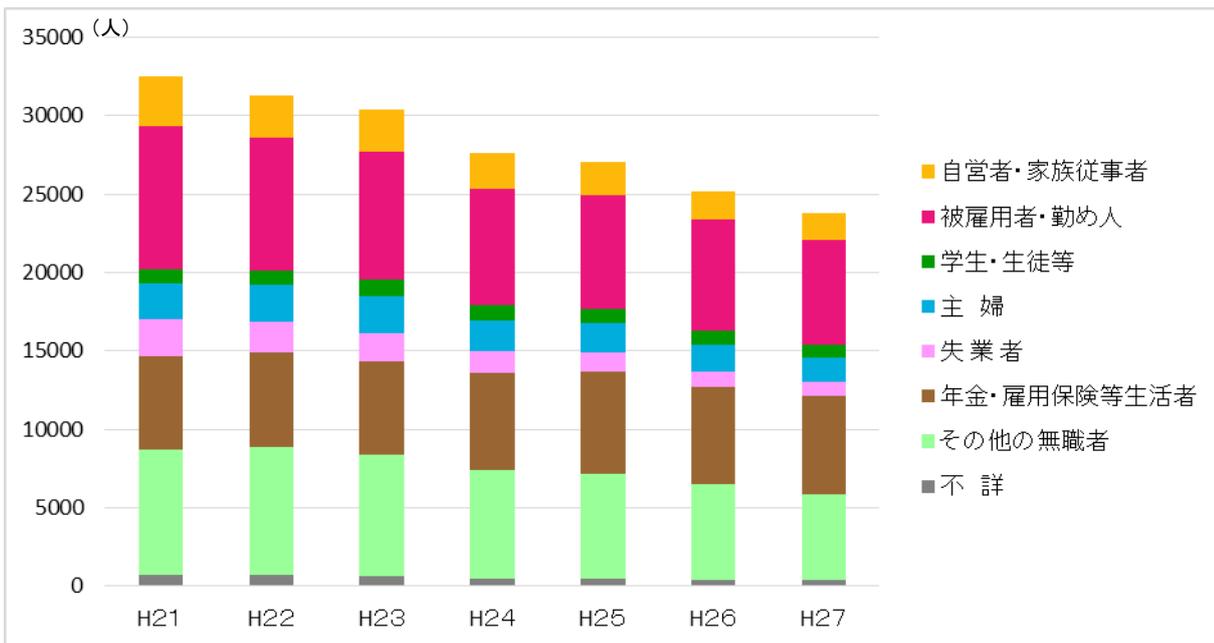
自殺死亡率でも、50代男性は低下しています。  
女性は、60代以上の自殺死亡率が高い水準で推移しています。

## 7. 職業別自殺者数の推移

### 青森県



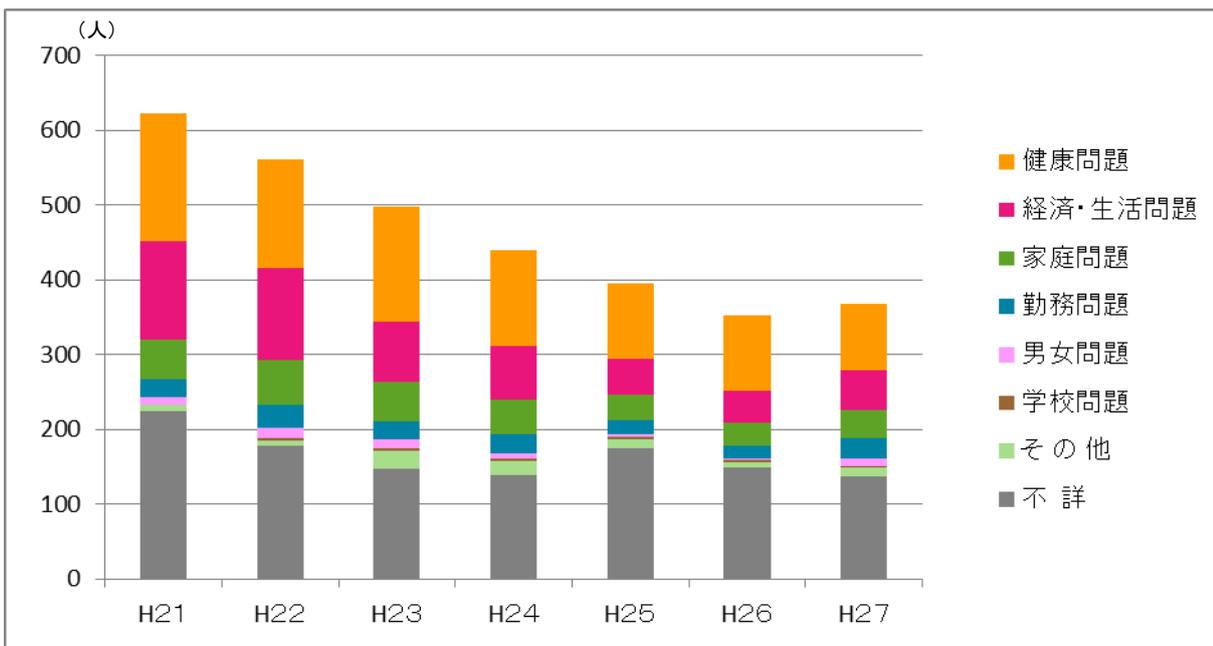
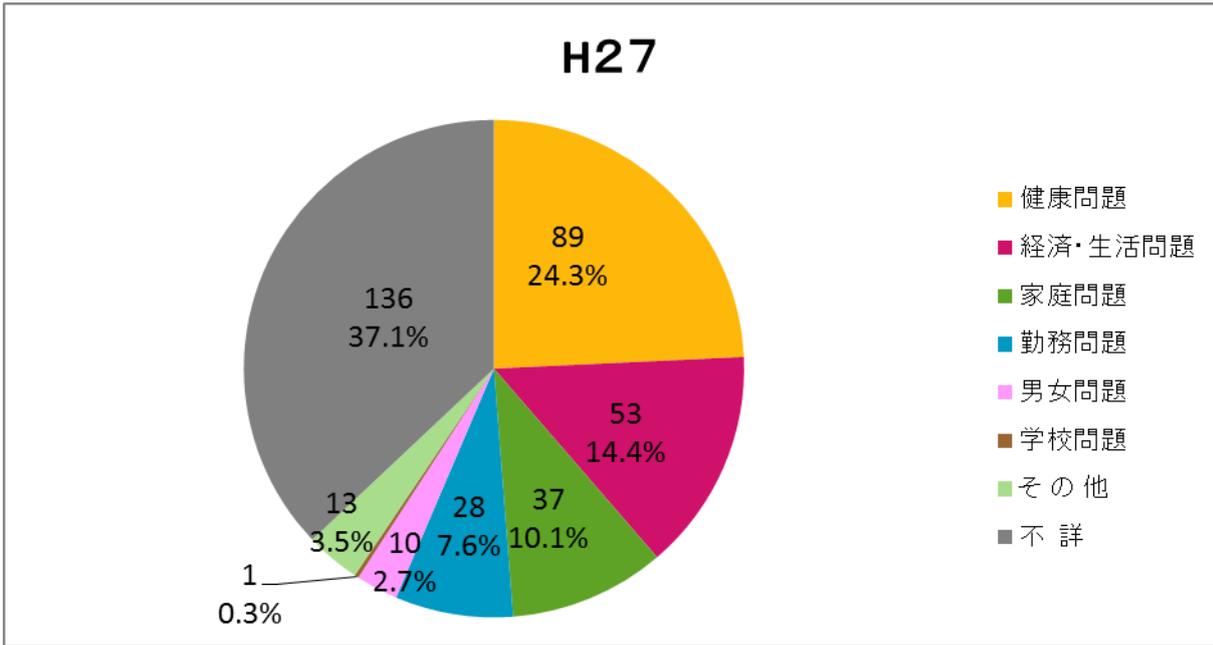
### 全国



出典：「地域における自殺の基礎資料（自殺日、住居地）」内閣府、厚生労働省

職業別では、青森県で最も多いのは年金・雇用保険等生活者です。  
全国は被雇用者・勤め人が最も多いです。

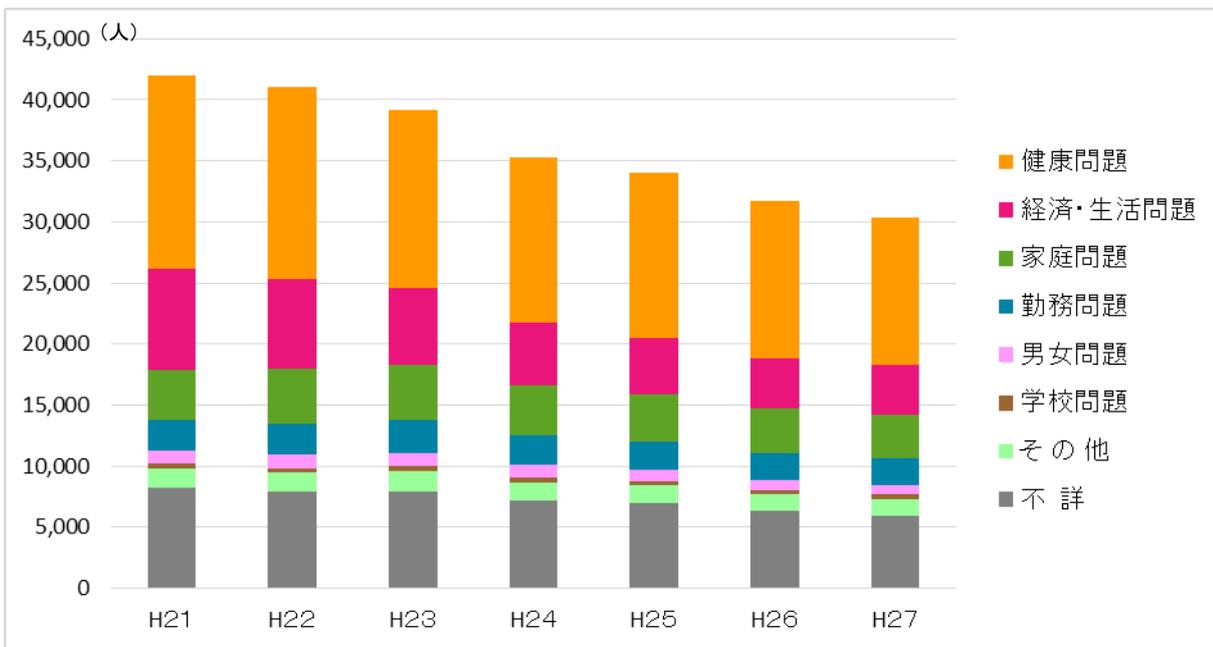
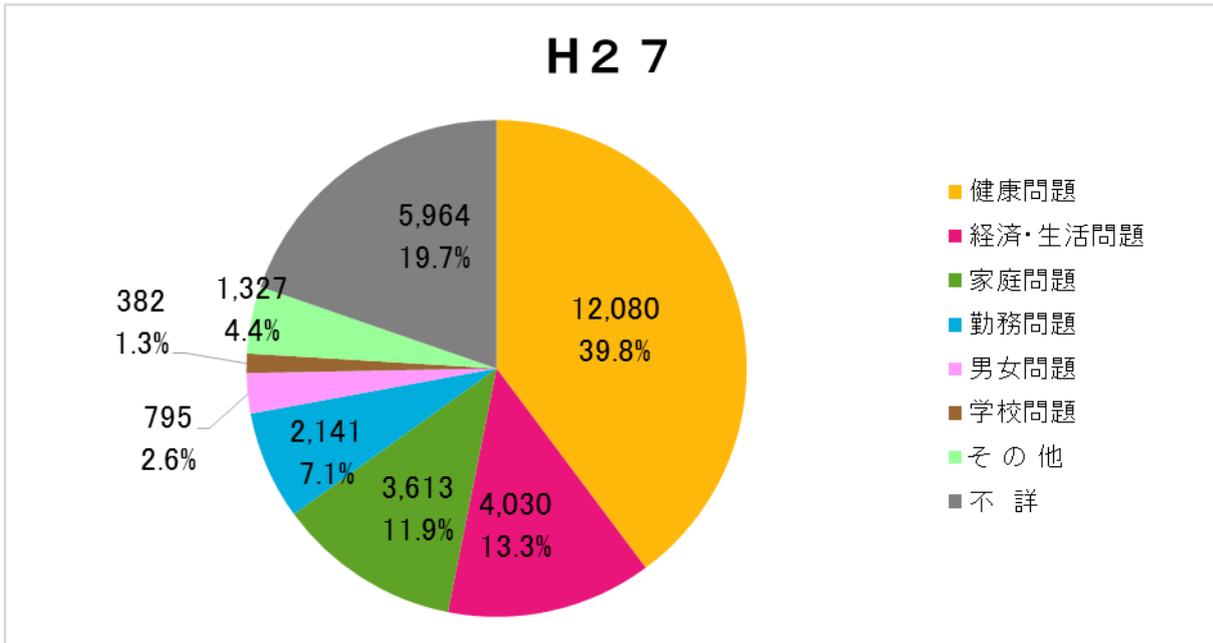
8. 原因・動機別自殺者数（青森県）※複数計上のため総数は他項目と合致しない



出典：「地域における自殺の基礎資料（自殺日、住居地）」内閣府、厚生労働省

青森県の自殺の原因・動機は不詳が最も多く、次いで健康問題、経済・生活問題となっています。健康問題と経済・生活問題は減少しています。

9. 原因・動機別自殺者数（全国）※複数計上のため総数は他項目と合致しない

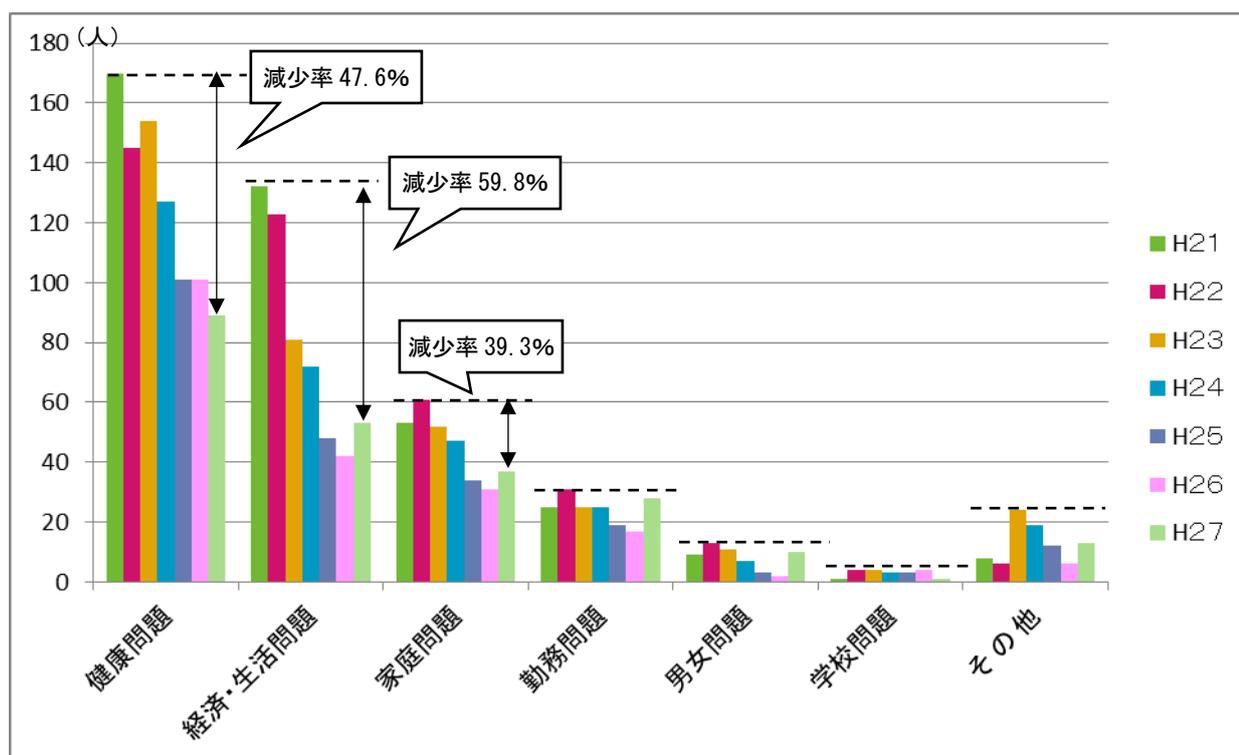


出典：「地域における自殺の基礎資料（自殺日、住居地）」内閣府、厚生労働省

全国は健康問題が最も多く、約4割を占めています。経済・生活問題が減少しています。

青森県の場合は、全国に比べ、健康問題の割合が少ない点が特徴です。

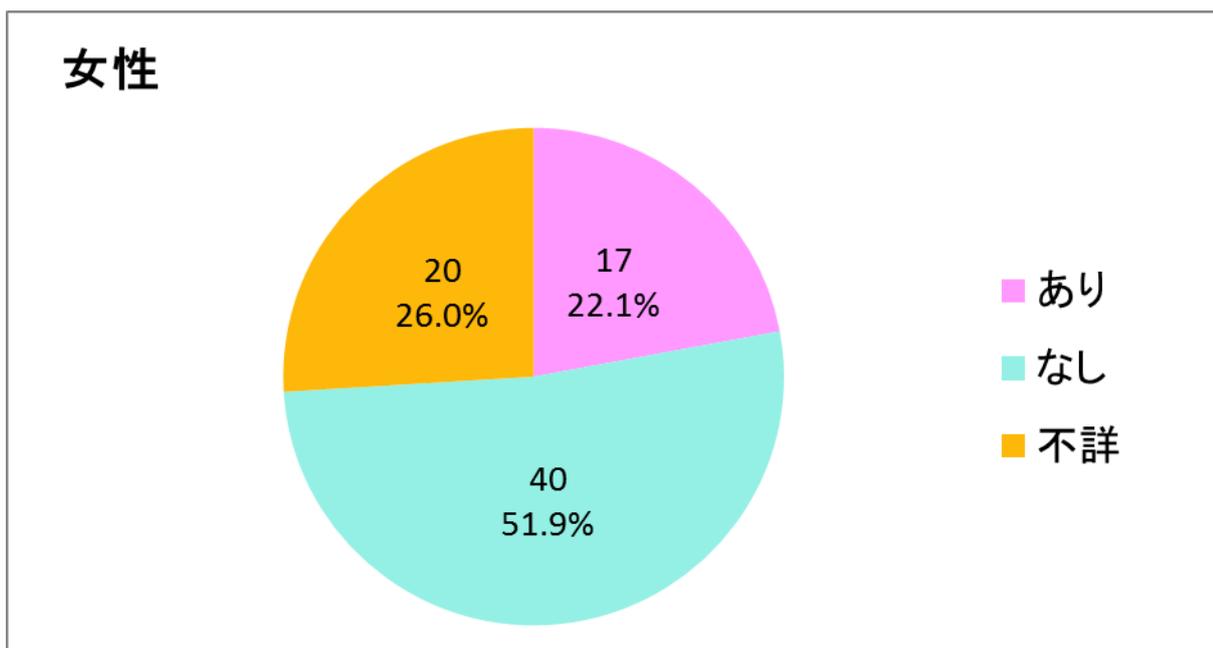
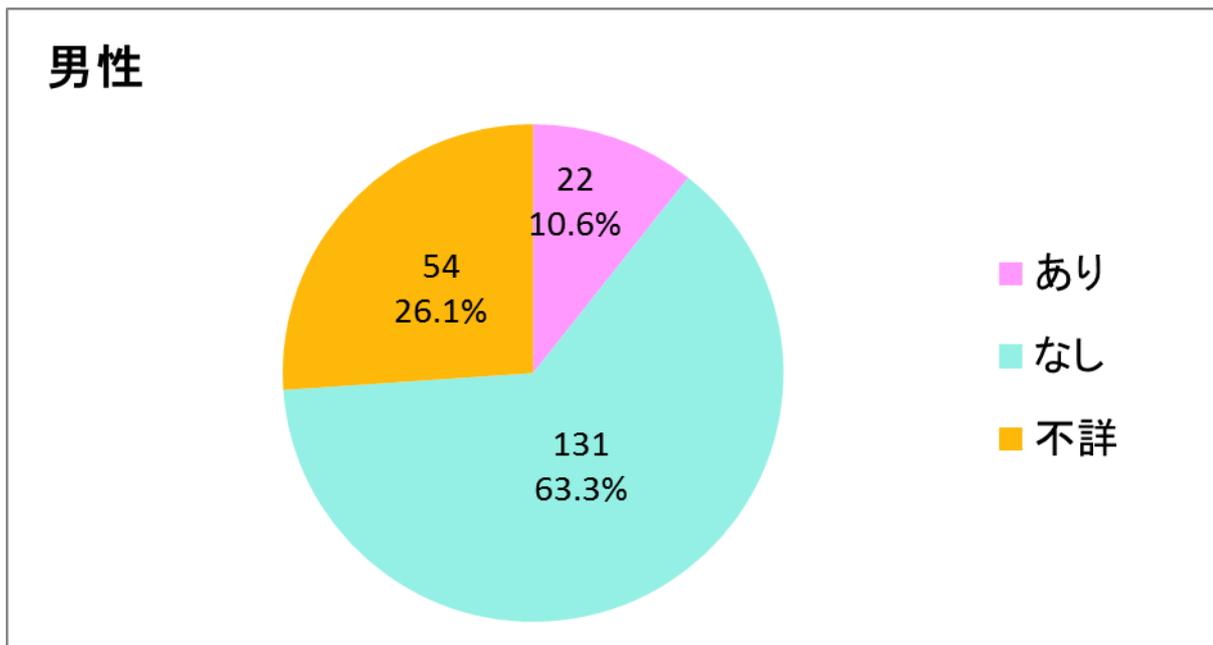
10. 原因・動機別自殺者数減少率（青森県）  
 （過去6年間で最も多かった年とH27年の比較）



「地域における自殺の基礎資料（自殺日、住居地）」に基づき  
 青森県立精神保健福祉センター作成

それぞれの原因・動機別に過去6年間で最も多かった年と平成27年を比較し、減少率を見るとこのようになります。  
 健康問題は47.6%、経済・生活問題は59.8%減少しましたが、家庭問題の減少率は39.3%にとどまっています。

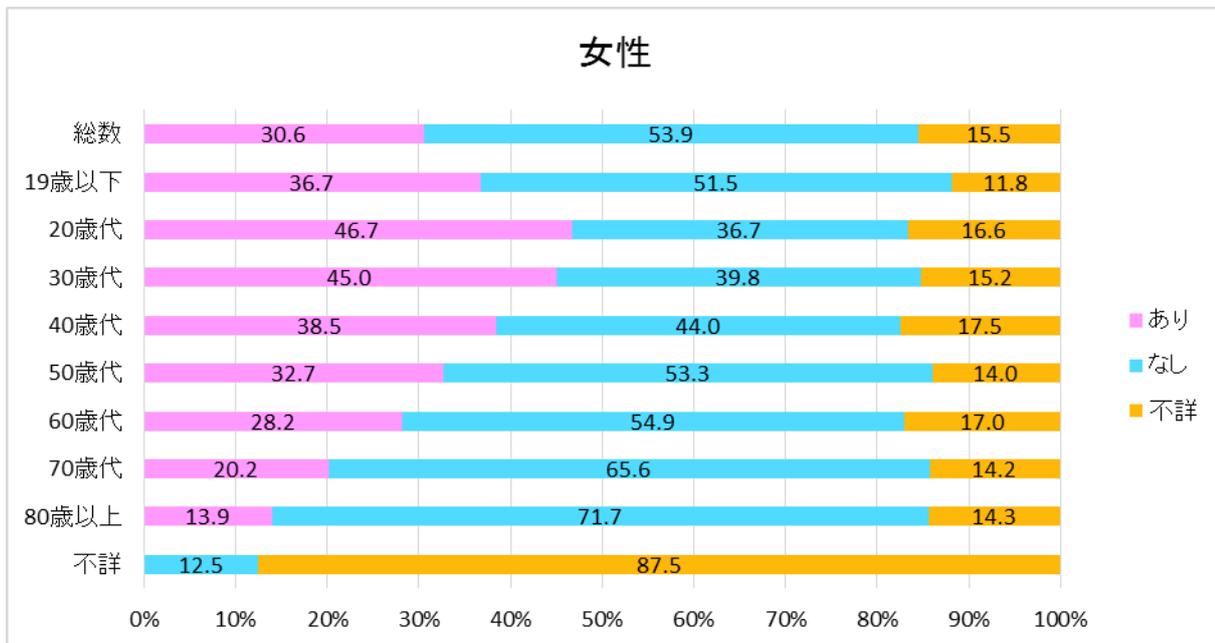
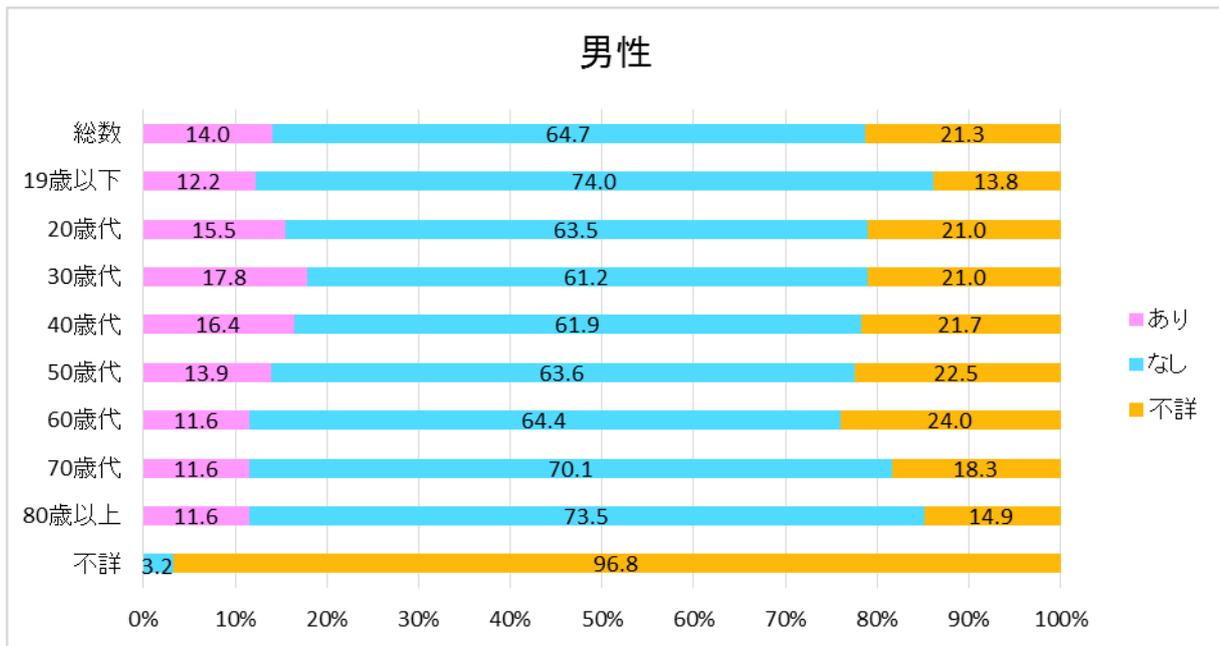
## 11. 自殺既遂者の自殺未遂歴の有無（平成27年・青森県）



出典：「地域における自殺の基礎資料（自殺日、住居地）」厚生労働省

自殺で亡くなった人の過去の自殺未遂歴の有無を調べると、男性に比べ女性は自殺未遂歴がある人の割合が多いです。

## 12. 自殺既遂者の年齢階級別 自殺未遂歴の有無（平成27年・全国）



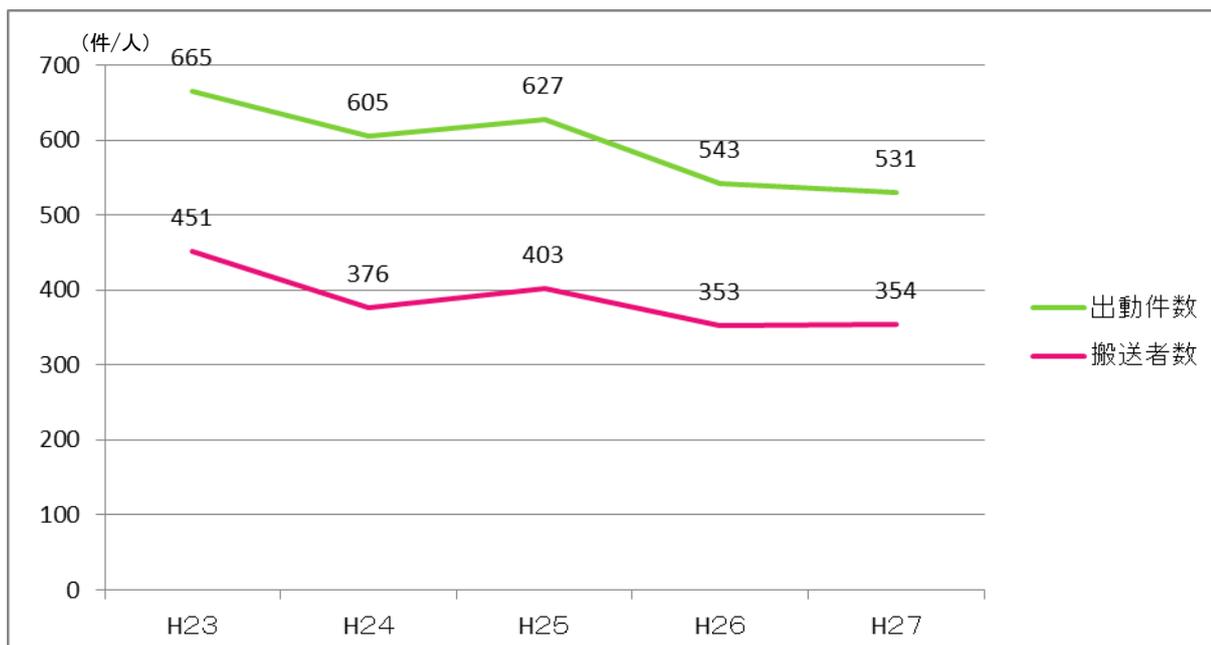
出典：「平成28年度版 自殺対策白書」厚生労働省

全国も青森県と同様に、自殺で亡くなった人の過去の自殺未遂歴を調べると、自殺未遂歴のある人の割合は男性よりも女性の方が多いです。

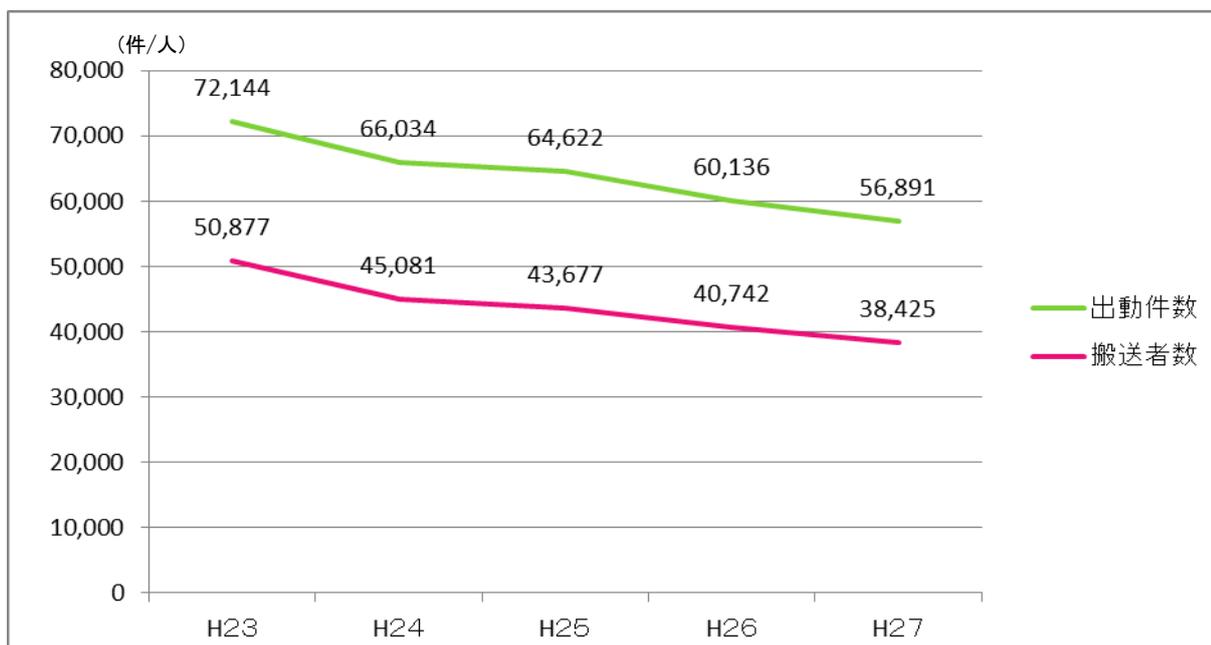
年齢階級別に見ると、男女ともに20～40代が最も多く、20～30代女性の半数近くが自殺未遂歴があるという状況です。

### 13. 自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員（延べ件数・人数）

#### 青森県



#### 全国



出典：「救急・救助の現況」消防庁

自損行為による救急自動車の出動件数及び搬送人員は、青森県と全国いずれも減少しています。青森県では年間約 600 件の出動があり、約 400 人前後が搬送されています。

※自損行為とは

故意に自分自身に傷害等を加えた事故のこと。（「自殺関連統計マニュアル」内閣府）

## <引用>

- ・「人口動態統計」厚生労働省  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>
- ・「地域における自殺の基礎資料」厚生労働省  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000140901.html>
- ・「自殺対策白書」厚生労働省  
<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/jisatsu/16/index.html>
- ・「救急・救助の現況」消防庁  
[https://www.fdma.go.jp/neuter/houdou\\_01/houdou28nen.html](https://www.fdma.go.jp/neuter/houdou_01/houdou28nen.html)
- ・「保健・医療・福祉統計情報」青森県健康福祉政策課  
<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/tokei/hokentoukei-index.html>